三題噺『・夏休み　・ネズミ　・歌』

「お姉ちゃん魔法使いなの？」
「……え？」
　待ちに待った夏休みが始まり、私は友人と共に夢の国へ遊びに来ていた。
　友人がお花摘みから戻るのを待っていると、後ろから突然投げかけられた問いかけにビクリと固まる。
　首をギギギと回すと、そこには小さな女の子が目をキラキラとさせてこちらを見つめていた。
　問いかけられた言葉にどうしようと頭を巡らせていると、女の子は私の周りにいる鳩を指差し、私がまるで鳩と会話をしているように見えた。と興奮した様子。
　心苦しさを感じつつ、否定しようとしたその時、遠くから女の子を呼ぶ声が聞こえた。
　このあと、この夢の国の主役であるネズミさんに会いに行くのだと満面の笑みで教えてくれた女の子は、ご機嫌に歌い、私に手を振りながら走り去って行く。
　そんな女の子に手を振り返し、私はほっと胸を撫で下ろして呟いた。

「びっくりした……バレたかと思った……」

　すると、足元にいた一羽の鳩が「子供は鋭いから気をつけな」と鳴いた。